

支援センター だより

1・2月
合併号

2面…ちば県民活動PR月間2016
賛同事業報告
全国の活動事例
3面…活動団体紹介「おじゃまします」
ちよつとボランティア掲示板
4面…インフォメーション

活力あるまちづくりを進める活動の拠点として

2017 No.170

= 時間がなくてもできるボランティア活動 =

【できることから始めてみよう！】

昨年の住民活動ふれあいまつりに実施した来場者アンケートに「ボランティア活動には興味があるけど、時間がなくて・・・。」という内容がありました。「ボランティア活動」というと高齢者や障がい者の支援、清掃活動、被災地の支援などを思い起こすと思います。しかし、せっかく興味をもったボランティア活動を遠ざけてしまうのではなく、できることから関わる方法はたくさんあります。

時間がなくても、重労働は無理という方でもボランティア活動に関わり、支える方法の一部をご紹介します。

詳しい内容については支援センターにお問合せください。 Tel : 0476-80-1733

E-mail : s-sien@pluto.plala.or.jp

●「寄付」もひとつのボランティア活動

物品や寄付金として余裕がある場合、必要としている団体に寄付すると喜ばれます。衣類や商品を寄付するときはその内容を団体にまず相談しましょう。千葉県には特定の事業や団体に寄付できる「ちばのWA地域づくり基金」があります。

●使用済みの切手やエコキャップを集めて送る

使用済みの切手やエコキャップは換金してユニセフ募金や国際交流団体の支援につながります。支援センターには回収箱があります。

●団体の会員（賛助会員など）になる

自分が興味を持ち、活動に共感する団体の会員（賛助会員など）になることもボランティア活動を支える方法です。

◆◇集めています◇◆

=ちよつとボランティア=

東日本大震災後、毎年、栄町の住民活動団体が協力して福島県の支援団体「NPO 法人花見山を守る会」に継続して支援品を送っています。「花見山を守る会」では、支援品をバザー形式で提供し、バザーの寄付金は震災孤児学業生活応援、避難されている方々の自立支援の為に使われています。バザー会場やふれあいサロンは、避難されている方々が引きこもらないように、心のよりどころとなるように開放しています。避難されている方々に少しでも笑顔になっていただけるよう、支援を継続して行います。今年もふれあいサロン「さくらの」で使っていただくお茶菓子やお茶などを送る予定です。皆さんのあたたかいご協力をお願いします。

●支援品：お菓子（個包装のもの）、お茶、コーヒー、紅茶など（新しく日持ちのするもの）

●募集期間：2月1日（水）～2月19日（日）4時30分まで

●回収場所：栄町住民活動支援センター（ふれあいプラザ1階）

協力団体：キャンドルナイトの会、のら市の会、ポレ・ポレ

のら里くら里健康ウォーキングの会、Kurukuru"パツ"の会

NPO法人まちづくりサポートひと・まち倶楽部



サロンの様子